

平成28年度 町の主な事業を紹介します。

議会費	
議会広報広聴活動強化事業	290万円
総務費	
広報・広聴事業	787万円
不発弾処理促進事業	394万円
国際交流事業	350万円
青年海外研修派遣事業	141万円
【新】ふるさと博覧会事業	800万円

民生費	
法人保育園運営負担金	15億4,740万円
児童手当事業	8億8,796万円
延長保育促進事業	1,731万円
認可外保育園事業・町単独事業	794万円
重度心身障がい者医療費助成事業	4,898万円
介護予防事業	3,699万円
介護給付・訓練等給付事業	8億884万円
市町村地域生活支援事業	4,742万円
臨時福祉給付金事業	8,080万円
病児病後児保育事業	871万円
【新】保育所等整備交付金事業	3億6,741万円
【新】子供の貧困緊急対策事業	2,912万円

衛生費	
こども医療費助成事業	1億6,591万円
2歳児歯科健診事業	79万円
予防接種事業	1億5,168万円
妊婦一般健康診査事業	4,760万円
し尿処理事業	2,730万円
ごみ処理対策事業	2億5,716万円
はえばるリサイクルループ事業	1,798万円

労働費	
無料職業紹介所整備事業	215万円

農林水産業費	
地力増強対策事業	474万円
山川地区畑地かんがい排水等整備事業	5,552万円
さとうきび振興対策事業	104万円
【新】農産物販売促進事業	982万円
【新】6次産業化推進事業	300万円

商工費	
観光事業	2,879万円
やさしい観光地づくり推進事業	291万円
ヒーローのまちづくり事業	867万円
伝統工芸後継者育成・観光との連携事業	1,646万円
商品開発・技術力強化事業	2,195万円

土木費	
町道10号線道路改良事業	2億930万円
町道113号線道路改良事業	6,124万円
町道73号線道路改良事業	5,080万円
町道210号線道路改良事業	2,971万円
【新】町道5号線道路改良事業	1,001万円
宮平学校線街路事業	700万円
津嘉山中央線街路事業	1億7,252万円
【新】津嘉山中央線街路事業(2工区)	1,001万円
黄金森公園整備事業	2億4,256万円
ウガンナ前公園整備事業	5,602万円
津嘉山公園整備事業	3,109万円

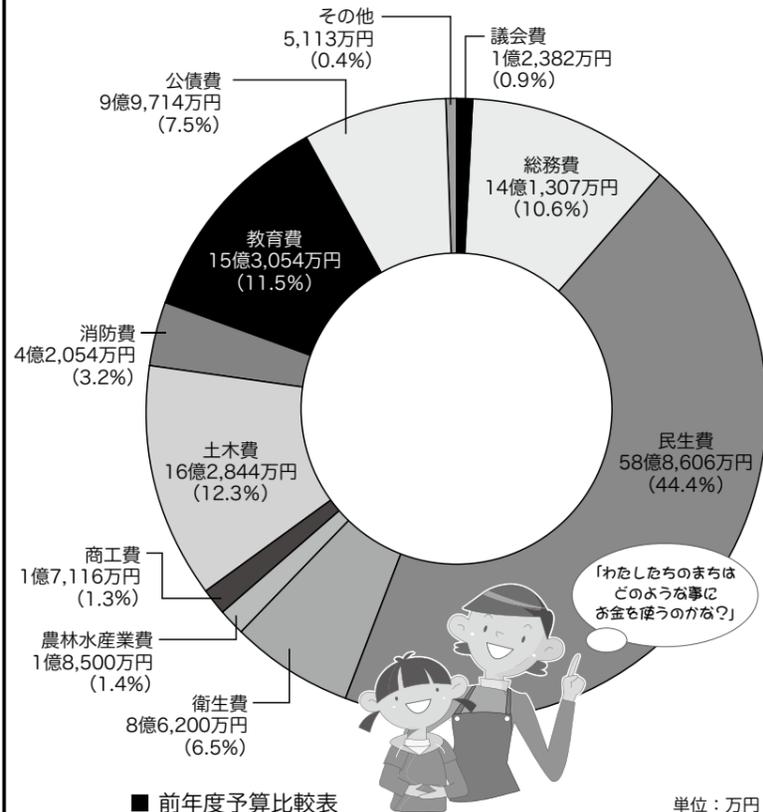
消防費	
東部消防組合負担金	4億850万円
防災体制強化事業	698万円

教育費	
要保護児童等支援費(小・中学校)	6,431万円
学校ICT推進事業	2,271万円
【拡】預かり保育事業	4,434万円
【拡】幼稚園臨時職員に係る経費	2,158万円
幼・小・中特別支援教育支援員(ヘルパー)配置事業	7,466万円
【新】黄金森公園スポーツ施設活性化事業	4,981万円
※【新】は新規事業、【拡】は拡大事業です。	



平成28年度

一般会計支出予算額132億6,890万円



■ 前年度予算比較表

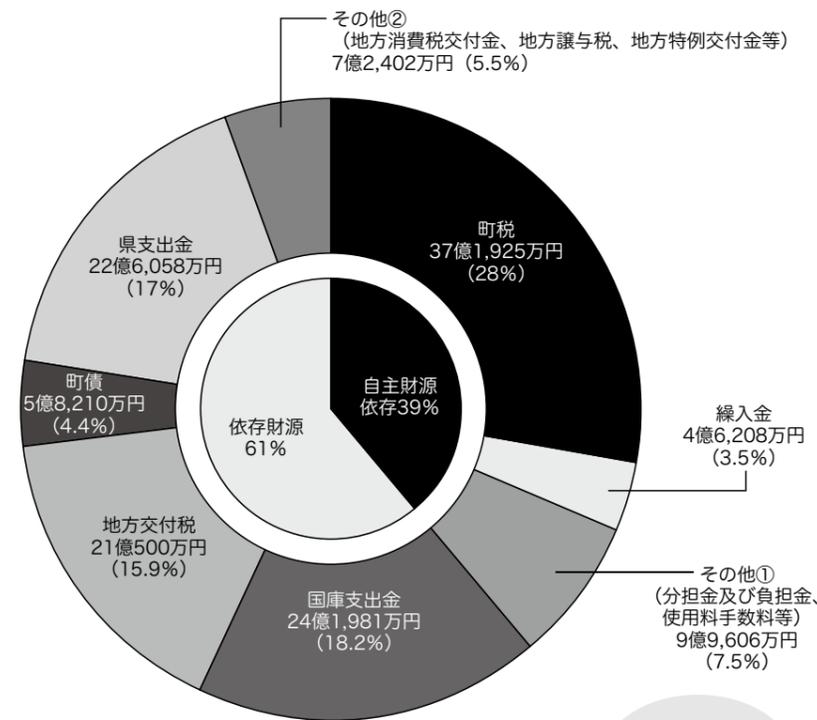
目的別科目	H28	H27	差額
議会費	12,382	13,042	▲ 660
総務費	141,307	112,052	29,255
民生費	588,606	495,972	92,634
衛生費	86,200	88,153	▲ 1,953
農林水産業費	18,500	32,365	▲ 13,865
商工費	17,116	16,318	798
土木費	162,844	187,482	▲ 24,638
消防費	42,054	41,617	437
教育費	153,054	205,483	▲ 52,429
公債費	99,714	100,232	▲ 518
その他	5,113	5,554	▲ 441
合計	1,326,890	1,298,270	28,620

支出用語チェック

- 議会費 ⇒ 議会の運営に使うお金。
- 総務費 ⇒ 人事、住民窓口、選挙、統計など、町の総合的な事務事業に使うお金。
- 民生費 ⇒ 障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、福祉医療、国民年金など福祉全般に使うお金。
- 衛生費 ⇒ 住民健診や予防接種などの保健費、ごみやし尿処理などの清掃費など安全で衛生的な生活のために使うお金。
- 農林水産業費 ⇒ 農道や畑地かんがい施設の整備、畜産や営農の活性化などに使うお金。
- 土木費 ⇒ 道路、橋りょうや河川、公園の整備運営、土地区画整理事業などに使うお金。
- 教育費 ⇒ 幼稚園や小中学校、公民館、文化センターの施設建設や運営の費用など、教育全般に使うお金。
- 公債費 ⇒ 町債(町の借金)を返済するために支払うお金。
- 労働費 ⇒ 労働者のための施設(共同福祉施設)の運営に使うお金。
- 商工費 ⇒ 商工業や観光の振興に使うお金。
- 消防費 ⇒ 東部消防組合に対して町が負担するお金や、災害対策に使うお金。
- 災害復旧費 ⇒ 台風や豪雨により被災した道路や公園などの復旧のために使うお金。

町の予算を説明します!

一般会計収入予算額132億6,890万円



■ 前年度予算比較表

歳入科目	H28	H27	差額
町税	371,925	354,908	17,017
緑入金	46,208	39,151	7,057
その他①	99,606	93,518	6,088
国庫支出金	241,981	186,776	55,205
地方交付税	210,500	215,200	▲ 4,700
町債	58,210	112,960	▲ 54,750
県支出金	226,058	233,254	▲ 7,196
その他②	72,402	62,503	9,899
合計	1,326,890	1,298,270	28,620

収入用語チェック

- 自主財源 ⇒ 町税、分担金及び負担金、使用料、手数料等町が自主的に収入できる財源
- 依存財源 ⇒ 国や県の意思によって定められた額を交付される財源
- 町税 ⇒ 地方税法、条例により町民や町内の企業から徴収する税です(町民税や固定資産税など)。
- 町債 ⇒ 大きな事業を行うために町が政府、銀行などから調達する長期的な借入金。簡単にいうと町の借金のこと。
- 地方交付税 ⇒ 日本のどの地域においても一定の行政サービスを提供できるよう、国税5税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)の一定割合の額を、国が県や市町村に対して交付します。その基準は国が決めています。
- 国・県支出金 ⇒ 事業など、特定の目的の財源として、国や県から交付されるお金。
- 分担金・負担金 ⇒ 町で特定のサービスを受けた人が納めるお金(保育料、福祉施設入所負担金など)。
- 地方譲与税 ⇒ 税法によって、国が国税として徴収し、一定の基準によって県や市町村に譲与される税です。
- 使用料・手数料 ⇒ 町の施設の使用料や住民票の交付手数料として、利用者の皆さんが支払うお金。
- 緑入金 ⇒ 基金(町の貯金)を取り崩して、繰り入れるお金。

平成28年度の町の予算が3月議会で決定しました。予算編成にあたっては、多様化する町民ニーズに対応するため、各事業の事業効果や効率性等あらゆる角度から再検証するとともに、新たな視点、柔軟な発想により最小の経費で最大の効果が上げられるよう予算編成に取り組みました。

今回、その予算の内訳をグラフ等で説明しますので町の財政についてご確認下さい。また、平成28年度の町の主な事業も紹介します。

